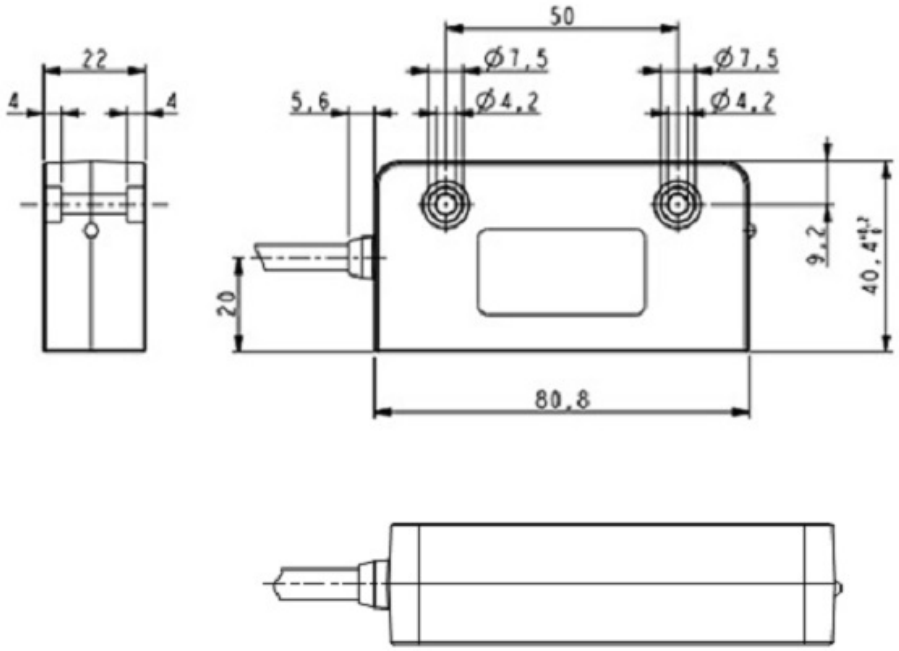
3 - 取付要領書

警告
設置作業は資格のある人が行ってください。電源は遮断し、機械部品は強制停止して下さい。

3.1 全体寸法図

(値は mm 単位で表示)



3.2 磁気テープ

SMAX センサは MTAX タイプ磁気テープとのペアで使用してください。 MTAX タイプのテープの詳細および適切な取り付け方法については、該当する技術文書を参照してください。廃棄物、特に旋盤の切りくず、切粉、添加物等に対する保護手段を提供するユニットを設置すること。これが不可能な場合は、センサと磁気スケール間隔が詰まって動かなくなるのを防ぐために、適切な清掃方法（例えば、ブラシ、スクレーパー、圧縮空気の噴流など）が備わっていることを確認してください。機械的な取り付けの際に、図 2 に示すセンサとスケールの間の距離、平面度、および平行度に関するシステム正常動作の要件をすべての測定長にわたって満たしていることを確認してください。MTAX 磁気スケールには、その磁気面を保護するためのカバーストリップ（保護用スチールテープ）を付けることができます（注文コードを参照）。図 1 は、センサとテープスケールの取り付け方法を示しています。矢印は標準のカウント方向を示しています（センサが矢印の方向に動くとカウントが増えます。15 ページの「4.1.6 カウント方向の入力」の項を参照）。

警告
図 1 に示す以外の方法で取り付けた場合、システムは稼働しません。

3.3 センサーヘッド取付け

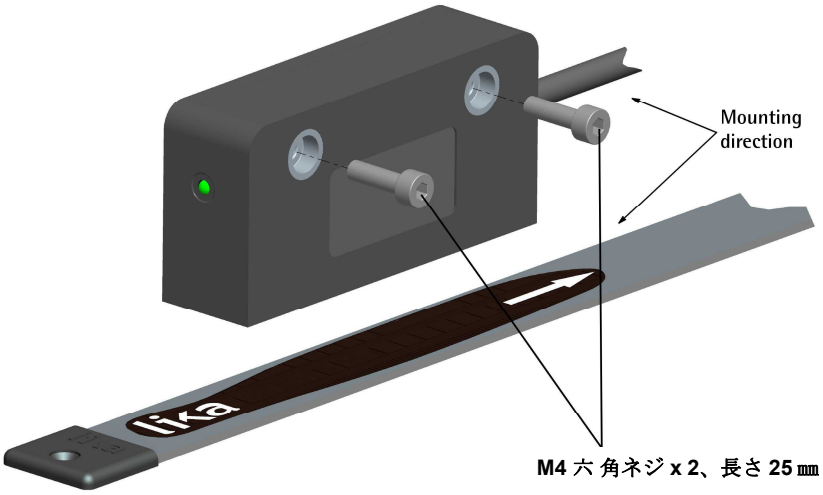


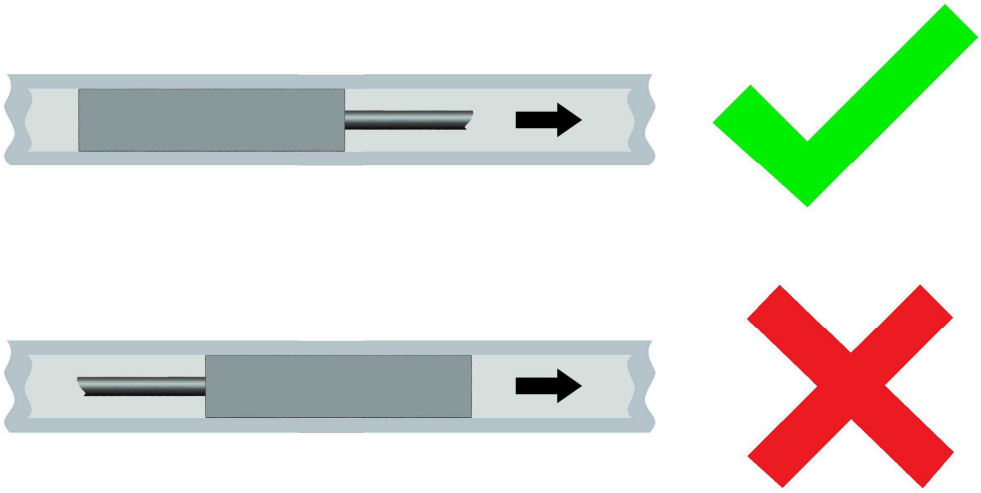
図 1.

図 2 に示すように、機械的な取り付けが、センサとスケールの間の距離、平面性、および平行度に関するシステム要件に準拠していることを確認してください。部品間の接触を避けて下さい。 2 本の M4、首下 25 mm 以上のネジでセンサを固定して下さい。用意された取り付け穴に長いシリンダーヘッドねじを通してください。センサ ケーブルの推奨最小曲げ半径：R≥25 mm です。図のようにセンサと磁気スケールを取り付けて下さい。 図に示す以外の方法で取り付けた場合、システムは作動しません。 矢印は標準のカウント方向（カウントアップ情報）を示すためのものです。MTAX 磁気スケールには、その磁気面を保護するためのカバーストリップを付けることができます（注文コードを参照）。 したがって、センサと磁気スケールとの間の距離は、カバーストリップが貼られているかどうかによって異なります。

ネジ固定穴の中心と MTAX 磁気スケールの間の距離 D（図 2 参照）は、次のとおりです。

保護シート無し	保護シート付
31.7 mm ～ 33.2 mm	31.3 mm ～ 32.8 mm

より良い操作のための推奨間隔 **D** は **32.2 mm** です。



警告
図 2 に示すように、測定距離全体にわたって、機械的な取り付けが、センサとスケールの間の距離、平面性、および平行度に関するシステム要件に準拠していることを確認してください。

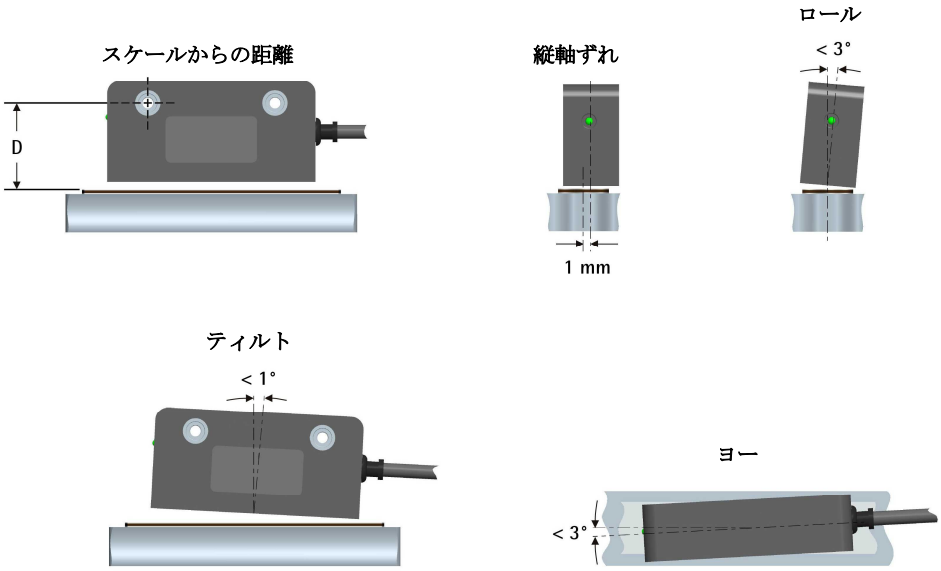


図 2

警告
センサを磁気スケールに取り付けた後、ゼロ設定操作が必ず必要です。センサまたはスケールを交換するたびに、ゼロ設定操作がその都度必要になります。ゼロ点設定操作については、「4.1.5 ゼロ点設定入力」（P.20）を参照してください。**14.ゼロ設定機能は、アナログインタフェースでは使用できません（SMAX-AI1……、SMAX-AV2……）。**

3.4 測定長

テープの最大長さ L は、280 mm～680 mm です（詳細については、製品データシートの注文コードを参照してください）。センサの面積は常にテープの磁気面の範囲内である必要があるため、最大測定長 ML は、テープの最大長からセンサーヘッドの長さを引いた長さ= L - 80 mm (200 mm ~600 mm ）です。

3.5 標準計数方向

センサが図 1 に示す白い矢印に従ってテープ上を移動すると、正のカウント値（カウントアップ情報）が得られます。詳細については、15 ページの「4.1.6 カウント方向の入力」を参照してください。